

1. CISOのメッセージ、平成23年度の総括・平成24年度の重点目標

(1)CISOのメッセージ		<p>警察では、限られた警察力をより効果的に発揮するため、数多くの情報システムを導入している。これらのシステムにおいて、停止、情報漏えい等の事故が発生した際の影響は計り知れない。そこで、警察庁では、「警察情報セキュリティ訓令」等の規定を定め、職員に遵守させている。</p> <p>本年度は、「標的型メール攻撃に係る取組」及び「証跡の取得の拡大」について重点的に取り組んだ。平成23年度に警察庁における情報セキュリティ上の重大な事故は発生していないが、引き続き諸対策の継続・強化に努めたい。</p>
(2)当該年度の総括	平成23年度取組(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標的型メール攻撃に係る取組 ○ 証跡の取得項目の拡大
	平成23年度取組(結果)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標的型メール攻撃について、訓練を通して職員への注意喚起を行うことができた。 ○ 外部記録媒体の証跡に加え、ファイル操作、印字等の証跡も取得することとした。
	平成24年度重点目標(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実地を重視した情報セキュリティ監査 ○ 情勢を踏まえた警察情報セキュリティポリシーの見直し

2. 情報セキュリティ対策の実施状況

(1)自府省庁の課題 (自己点検結果、情報システム・重点検査、教育・啓発、調達・外部委託等)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標的型メール攻撃に係る更なる対策 ○ 異動期における情報管理の徹底
(2)(1)で記述した課題に対する対策状況・改善に向けた指示	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標的型メール攻撃対処訓練を実施したが、今後とも、職員に開封しないよう更なる注意喚起を行う必要がある。 ○ 異動期においては、通常期に増して情報管理の徹底が必要であるため、今後も時機をとらえた定期的な注意喚起を行っていく必要がある。

情報セキュリティ報告書 府省庁別概要資料 警察庁

3. 情報セキュリティに関する障害・事故等

障害・事故の概要、原因分析	府省庁の対応	再発防止策
重大な障害・事故等は発生していません		

4. 具体的な情報セキュリティ対策の実施内容等

実施概要(テーマ)	内容(取組の起点・背景、実施目的、具体的な工夫、費用、アピールポイント等)	効果(定量評価、できたこと・できなかったこと、期待される効果等)
ネットワークの分離	外部と接続されたネットワークと、警察内部のWANシステムのネットワークとを完全に分離している。	警察情報を窃取等するための外部からの攻撃を不可能とした。
外部記録媒体の利用制限措置	許可なく外部記録媒体を利用できなくするための技術的措置を講じた。	電子計算機から要機密情報を持ち出す際には、上司がパソコン上で許可手続を行うようにした。
個人所有の外部記録媒体の利用禁止措置	上司の許可を受けて外部記録媒体を利用する場合であっても、公用の外部記録媒体以外は利用できなくする技術的措置を講じた。	個人所有の外部記録媒体を一切利用できないようにした。